

適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	アミカルバゾンを含む農薬の総使用回数	トリアジフラムを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量				
日本芝	一年生雑草	芝生育期 (雑草発生前～ 発生初期)	100~200 g/10a	200~300 ℓ/10a	2回以内	全面 土壌 散布	6回以内	2回以内

製品概要

名称：ファルクス

種類名：アミカルバゾン・トリアジフラム水和剤

有効成分：アミカルバゾン……………10.0%
トリアジフラム……………30.0%

その他成分：鉱物質微粉等……………60.0%

性状：淡褐色水和性細粒

人畜毒性(製剤)：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)
急性毒性
経口 ラット(LD50)>5,000mg/kg
経皮 ラット(LD50)>2,000mg/kg
皮膚刺激性：なし

水産動植物に対する影響：コイ(LC50):774mg/L(96時間)
オオミジンコ(EC50):260mg/L(48時間)
藻類(ErC50):0.25mg/L(0-72時間)



新規芝生用除草剤

ファルクス

顆粒水和剤

ファルクスは株式会社エス・ディー・エスバイオテックの登録商標です。



アミカルバゾン・トリアジフラム水和剤

荷姿：500g×4袋

⚠️ 効果・薬害等の注意

- 散布むらを生じないように均一に散布する(効果)
- 周辺の植物にかかると薬害を生じ場合があるので、散布の際は芝生の中や付近にある草木や花木、畑作物などに薬液がかからないようその付近での散布はさける(薬害)
- 本剤の使用にあたっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

⚠️ 安全使用上の注意

- 眼に対して刺激性があるので眼に入らないように注意。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。使用後は洗眼する。
- 水源地等に本剤が飛散、流入しないように十分に注意する。
- 散布の際は、農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。

- 公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払う。
- 空袋は圃場などに放置せず適切に処理する。
- 魚毒性…使用残りの薬液が生じないように調製し、使い切る。
散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空袋は水産動植物に影響を与えないように適切に処理する。
- 保管…直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。

この記載内容は 2018 年 2 月における知見に基づいております。

2018.3.500(NU)

販売  **出光アグリ株式会社**
東京都台東区上野 6-16-19

製造販売元  **株式会社 エス・ディー・エスバイオテック**
東京都中央区東日本橋一丁目1番5号

取扱い

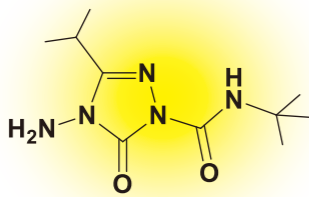
はじめに.....

ファルクス顆粒水和剤は、トリアジフラム(製品名:イデトップフロアブル)と新規化合物のアミカルバゾン[®]を有効成分とする芝生用茎葉兼土壌処理型除草剤です。
 2011年(平成23年)から(公財)日本植物調節剤研究協会試験(試験コード名:SB-217WDG)を開始し、2016年11月14日に農薬登録を取得しました。
 本剤は、幅広い殺草スペクトラムを有し、その優れた効果は日植調委託試験でも認めて頂いております。

I 作用特性

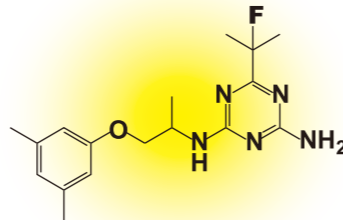
アミカルバゾン
枯殺タイプ
新規光合成阻害剤
 茎葉部、根部から吸収され、ネクロシス/クロロシスを引き起こす。

アミカルバゾン 10%



トリアジフラム
生育抑制タイプ
セルロース生合成阻害剤
 幼芽部・根部から吸収、生長点に作用、生育を阻害し長期間効果持続。

トリアジフラム 30%



II ファルクスの特長

- 幅広い殺草スペクトラム**
 ●広範囲な一年生雑草に対し優れた除草効果を示す。
- 雑草発生前～発生初期までと処理適期幅が広い**
 ●土壌処理剤として実績あるトリアジフラムと茎葉吸収効果のあるアミカルバゾンの配合により、一年生雑草を発生前から発生初期処理で防除できる。
- 防除の難しい広葉雑草にも優れた効果を示す<フグリ類・オランダミミナグサ・ヤハズソウ>**



III 殺草スペクトラム

科	発生前		発生初期		科	発生前		発生初期		科	発生前		発生初期																					
	●	○	●	○		●	○	●	○		●	○	●	○																				
イネ科	スズメノカタビラ	●	○	メヒシバ	●	○	アキメヒシバ	●	○	オヒシバ	●	○	エノコログサ	●	○	ナギナタガヤ	●	○																
マメ科	ヤハズソウ	●	●	コメツブツメクサ	●	●	カラスノエンドウ	●	●	シロツメクサ	●	●	アブラナ科	タネツケバナ	●	●	ナズナ	●	●															
キク科	ヒメムカシヨモギ	●	●	オオアレチノギク	●	●	ヒメジョオン	●	●	ハルジオン	●	●	マメカミツレ	●	●	セイヨウタンポポ	●	●	オニタビラコ	●	●	ウラボシ	●	●	ノボロギク	●	●	アメリカセンダングサ	●	●	トキンソウ	●	○	
ナデシコ科	オランダミミナグサ	●	●	ハコベ	●	●	ツメクサ	●	●	ノミノフスマ	●	●	シソ科	ホトケノザ	●	●	ヒメオドリコソウ	●	●	トウダイグサ科	コニシキソウ	●	●	エノキグサ	●	●	タデ科	イヌタデ	●	●	フウロソウ科	アメリカフウロ	●	●
ゴマノハグサ科	オオイヌノフグリ	●	●	タチイヌノフグリ	●	●																												

1) 除草効果: ●極大(100%以上), ○極大(99~95%), ◎大(94~90%), □中(89~70%), △小(69~50%) 2) 本表は委託試験成績とSDS社内試験結果をとりまとめたものです。 3) データ収集期間: 2010年~2015年 4) 多年生広葉雑草<シロツメクサ・ハルジオン・ウラボシチコグサ>については種子発生個体に対する効果を示しています。

IV 社内試験の事例

試験の狙い

日本芝(ノシバ・コウライシバ)における雑草発生初期処理での除草効果の確認。

試験場所及び試験規模

千葉県内ゴルフ場ティーグラウンド周り 1m²/区

処理日および調査日

- ① 処理日 2014/5/13
 調査日 2014/7/22(処理後70日)
 水量 200ml/m²

結果

無処理区にはヤハズソウとチドメグサが発生したが、処理区ではほとんど発生が認められなかった。日本芝に影響は無かった。



試験の狙い

コウライシバにおける雑草発生前処理での除草効果の確認。

試験場所及び試験規模

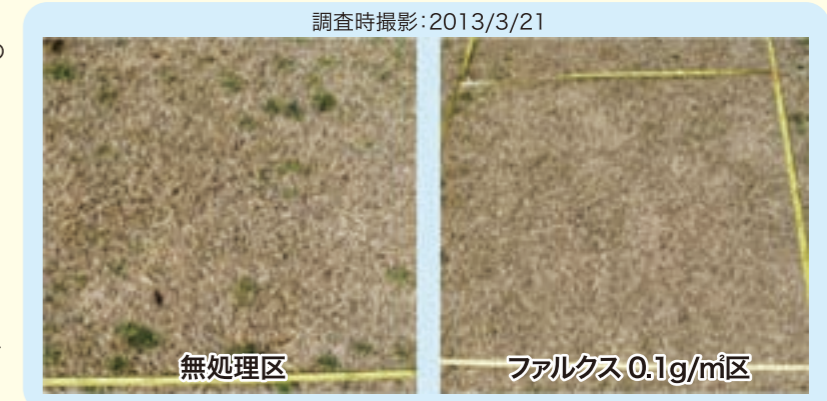
大阪府内ゴルフ場練習グリーン周り 1m²/区

処理日および調査日

- ② 処理日 2012/10/19
 調査日 2013/3/21(処理後153日)
 水量 200ml/m²

結果

無処理区にはスズメノカタビラが発生したが、ファルクス 0.1g/m²処理区ではほとんど発生が認められなかった。コウライシバに影響は無かった。



V 委託試験の結果

(公財)日本植物調節剤研究協会 実施試験(2011年~2013年)

(抜粋)

処理時期	試験機関	処理日	調査日	対象雑草	0.1g/m ²		0.15g/m ²		0.2g/m ²		
					効果	薬害	効果	薬害	効果	薬害	
春夏処理	コウライシバ	雑草発生前	東日本グリーン研究所	2012/4/9	2012/7/17	●	無	●	無	●	無
			植調埼玉試験地	2012/4/24	2012/8/7	○	無	○	無	○	無
			植調福岡試験地	2012/3/29	2012/7/17	○	無	●	無	●	無
	コウライシバ	雑草発生初期	東日本グリーン研究所	2012/5/7	2012/7/17	●	無	●	無	●	無
			植調埼玉試験地	2012/5/1	2012/8/7	○	無	○	無	○	無
			植調福岡試験地	2012/4/19	2012/7/19	●	無	○	無	●	無
秋冬処理	コウライシバ	雑草発生前	東日本グリーン研究所	2011/10/1	2012/1/31	●	無	●	無	●	無
			新中国グリーン研究所	2012/9/25	2013/3/2	○	無	○	無	○	無
			植調福岡試験地	2012/10/1	2013/2/20	●	無	●	無	●	無
	コウライシバ	雑草発生初期	グランディー那須白河GC	2013/10/17	2014/1/27	●	無	○	無	●	無
			静岡ゴルフ場協会	2012/10/10	2013/1/10	●	無	●	無	●	無
			植調福岡試験地	2012/11/5	2013/2/25	○	無	●	無	●	無

※防除効果: 極大●無処理区に対して残草量が0%、極大○無処理区に対して残草量が1~5%